

MAENAN SAH Journal Vol.65



～『自ら考え、判断し、行動できる生徒の育成』をめざして～

★OECD Global Forum Gunma Site Visit DAY1&DAY2★ ～Teaching Compass 2030 策定に向けて～



<DAY1>@エテルナ高崎

- ①開会&歓迎挨拶
- ②Dialogue Session1 (Multi Stakeholder Discussion)
What kind of learning should we prioritize?
私たちはどのような学びを優先させるべきか?
- ③Report back Session・・・フィードバック
- ④Welcome Address (山本一太知事)
(Standing Lunch)・・・立食中も意見交換!
- ⑤SAH 指定校職員活動発表 (前橋南高校・高崎女子高校・伊勢崎高校)
- ⑥Dialogue Session2 (Multi Stakeholder Discussion)
How can we provide opportunities for students to exercise their autonomy in order to develop social emotional skills in the classroom/curriculum?
教室やカリキュラムの中で社会情動スキルを育成するために、生徒が自律性を発揮できる機会をどのように提供できるか?
- ⑦Report back Session・・・フィードバック
- ⑧閉会

<DAY2>@前橋南高等学校

- ①開会&歓迎挨拶
- ②授業参観 (2年日本史探究)
- ③前橋南高校生徒活動発表 (生徒会)
- ④質疑応答
- ⑤Dialogue Session1 (OECD+県教委)
Teaching Compass in the new era
新時代におけるティーチングコンパスとは?
- ⑥閉会

10/10木にエテルナ高崎にてDAY1を、11金には前橋南高校にてDAY2を行いました!この国際フォーラムは第6回にして初の日本上陸なのですが、それが群馬に来るなんて!まして本校に来るなんて!こんな機会を得られた生徒たちはますます刺激を受け、成長してくれると思います!本校の取組が世界基準で活躍されている方々に評価

していただけただけで、大いに自信となりました!今後も生徒とともに活動して参ります!OECDのTeaching Compass 2030の基礎が群馬や本校で作られたのだとしたら光栄です!それでは写真と生徒の感想文をどうぞ!(文責:教頭 星野 亨)



<2年日本史探究 西村淳也教諭より>

複数の資史料を分析して関連付けることにより、本質的な解答を導き出す力の育成を目指しています。共通テストの実施によって資史料に関する出題がより増えるなか、絵画史料の読解は大学入試に必須の力と位置づけられています。

OECDの方々に御覧いただいた授業は、『一遍上人絵伝』のなかの福岡市の場面から、中世に関するさまざまな情報を読み取ってもらうものです。その際、必ずしも正解を求めず、多様な解答を期待する指導方針により、シンプルな問に沿った読み解きを行います。グループで協働しながら互いに理解を深め合うこと、暗記学習と捉えがちな歴史学習に対する興味関心を高めることを目標としています。

日常の授業では、①歴史的因果関係を説明する文章をできる限り書かせること、②口頭で解答を求める場合も単語ではなく、余分な言葉を削ぎ落として本質を絞り込んだ文章での解答を求めること、を常に生徒に求めています。

私が展開する全ての授業が、このようなグループ活動によって成り立っているわけではありません（それが理想とは考えていますが）。しかしできる限りテーマを開発し、グループやペアでの活動を盛りこんでいきたいと、日々知恵を絞っています。他の授業者の実践（今回の授業も、加藤公明『日本史討論授業のすすめ方』に拠っています）を参考にしながら、“Try and Error”の精神で、思いついたらまずやってみる、やってみてうまくいかなかった部分をその都度改良する、という姿勢で取り組んでいます。またテーマの開発には、教科書以上の専門知識や時代背景、時代観の獲得も欠かせません。そのために、日々の読書を大切にしています。

今回の授業では、思わぬ副産物にも恵まれました。外国の方も含めた多くの方に参観いただき、しかも参観者が次々と生徒に質問する中、「わいわい」とした雰囲気でも生徒も発言しやすくなり、グループ活動がより一層盛り上がったことです。また生徒たちから、「楽しかった」という感想が数多く聞こえたことも、何よりでした。



<副会長>小此木 いろは（おこのぎ いろは）

他校の学生や OECD の方達、その他たくさんの人たちと直接意見を述べ合い、考えを深めていく活動は今までにないことであり、初めは不安の気持ちしかありませんでした。しかし、話し合いを進めていくうちに、同じテーマでもいろんな見方や考え方があり、本当に面白かったです。教育委員会の方や OECD の方たちはとても温かく、真剣に私たちの話を聞いてくださいました。また自分の意見をしっかりと持ち、いつだって堂々としていました。そんな姿がとてもカッコよく、私もそんな大人になりたいと強く感じました。今回の活動を通して、ひとつ残念だったことは、私自身の英語力が非常に低く、OECD の方たちと通訳を通してでしか話ができなかったということです。これからの時代、世界を視野に入れていくためには英語を学ぶことは非常に重要になってくると思います。また新たな自身の課題が見つかる良い機会となりました。この二日間を、私は一生忘れないと思います。

<副会長>吉田 優吾（よしだ ゆうご）

洗練された雰囲気の中で、多くの方々と深い知見を共有できたことは、私にとって貴重な経験でした。会場全体に広がる知的な刺激や、参加者の皆様から学ぶ姿勢は、学校教育に関わるという夢を持つ私にとって視野をさらに広げる機会となりました。今回の経験を通じて、自分の見識を一層深め、今後の糧にしたいと強く感じました。二日間、とても楽しかったです本当にありがとうございました！！

<会計>八木 悠翔（やぎ ゆうと）

1 日目では他校だけでなく他の国の人と話せてとても楽しい会になり、自分の中の世界が広がりました 2 日目では 1 日目に教頭先生が活動報告をしすぎたせいでこれじゃ物足りないかなと思っていたのですが OECD の方は学生目線の質疑応答をメインにしたいんだとわかったので充分満足のいく結果になったと思います。最後に 2 日間ともすごく楽しかったです。

<監査>堀川 凜（ほりかわ りん）

今回のことが決定した時、ここまで大きなことに関われる興奮と同時に緊張や不安を感じていましたが、実際は堅苦しい場ということもなく、皆が対等な立場での本場のディスカッションを経験することができました。また、一人一人が意見を持っていて、様々な考えを知り、視野が広がったように感じました。この 2 日間、とても貴重で実りある時間を過ごすことができましたと思います。私は教諭を目指しているのですが、この経験を学生の身である今はもちろん、将来にも活かしていきたいです。

<会計>平沢 拓夢（ひらさわ たくみ）

2024 は日本が OECD に加盟して 60 周年の節目の年で、その年に前橋南高校に来たということはとてもすごいことだと改めて実感しました。また、先輩方の SAH の活動が、世界からも沢山評価されていると今回の OECD を通じてわかり、本当に先輩方のことを尊敬しました。先輩方の質問にも積極的に答える様子を見て、今までの苦勞がよくわかり、自分も頑張らないといけないと感じました。今回の OECD を通じての先輩方の姿を見て、自分も、もっと頑張らないといけないと感じました。これからも素晴らしい先輩方のもとで SAH の活動を積極的に行っていき、自分の成長に繋げていきたいです！

<書記>荒川 美空（あらかわ みく）

OECD の方々が来校され、生徒会の先輩方の功績を海外の人にも知れているということを実感し、とても素晴らしいことで、この世界を通じての繋がりはありがたいことで、それをつなぐに至った先輩方の努力がただの尊敬だけでは飽き足らず、崇められるべき功績だと思いました。また、OECD の方々にスライド発表を行ったり、OECD の方々のなかにはもちろん海外から来られた方もいらっしゃるにも関わらずさまざまな質問に対して臆さず堂々と丁寧に答える姿は、先輩方の邪魔をしてはいけないですが、『カッコいい』と思わず発表中に口に出したくなるほどでした。今日の発表の中にはまさに前南が掲げる SAH の要素が詰まった出来事だったと感じております。私も『カッコいい』と思わず誰かが口に出したくなるようこれからも精進していきます。

<書記>岡野 夢大（おかの ゆうだい）

今回国際的な組織の OECD の方々がご来校されるという凄い事に立ち会え、誠に光栄な事でした。先輩方のプレゼンは、はっきりとしていてわかりやすくまるでお手本のようでした。その他にも質問に対しての返答も素敵でした。私の稚拙な語彙力では、語れないほどに先輩方が素晴らしく、私もあなれるようになりたいと、感服致しました。これから先輩達の様になれるように励みたいと思います。

<常任委員>峯岸 優衣（みねぎし ゆい）

先輩方は何日も前から、時間のなかで原稿の作成やスライド発表の練習に取り組んでいてすごいと思いました！前南のことを OECD の方々に伝えたい!! という熱い想いが伝わってくると同時に、準備から発表を完璧にこなしてとてもかっこよかったです！私もいつか、先輩方のように前南への熱い想いをもって全力で生徒会活動に取り組める生徒会役員になりたいと思いました!!

<常任委員>松井 姫奈（まつい ひめな）

今日は、改めて先輩方の背中を大きく、偉大なものと感じることができました！ OECD の方々は、オーラがすごく、ファッションもオシャレで、カリスマ性に溢れていて、私の心は、大きく奮い立たされました！今回の機会で、改めて周りの人へのありがたさを感じ、日々の感謝伝えることの大切さを学びました。これからも、尊敬する仲間、先生たちと、成長を続けていきます！！

<監査>新井 稀唯（あらい きい）

今日は OECD の方々が来てくださり、世界から目を向けられるような取り組みをしてきた先輩方はすごいと感じました。そしてどんな質問にも真っ直ぐに答える先輩はかっこよかったです！私はまだ生徒会として動いていることが少ないので自分から積極的に動いて自分で課題に気づいて挑戦していける生徒になりたいです！そして OECD の方々は明るく暖かく接していただきました。またプレゼンに対して興味を持って質問をしてくださり、すごく嬉しかったです。私は前南を更に良い学校にするため SAH の取り組みをこれからも私達自身で更新し続けていきたいです。

<常任委員>宮下 葵衣（みやした あおい）

今回 OECD の方々がご来校され、日本語と英語が飛び交う中での交流に参加でき、とても貴重な経験となりました。言葉にするのが難しいような質問にも自分の言葉で丁寧に答えている先輩方の姿を見て、改めて先輩方の強みや前南に対する熱い思いを知ることができました！先輩方の立派な背中を追い、私自身も成長していきたいです。

授業に参加した生徒からも感想文を書いてもらおうかと思っていましたが、今回は見送りました！生徒の熱がすごい！（文責：教頭 星野 亨）



＜生徒会長＞腰高 紗依（こしだか さえ）

一生に一度、人生で経験できるかできないかというような貴重な経験をさせていただきました。とても感謝しています！参加者全員が一人一人の意見を大切にしている、私の意見も大切にされていると実感できました！いろいろ話し合いを行うなかで、私たちが行っている取組を知っていただけたということが何よりも嬉しいです！なにか行動を起こしても、どのように取り組んだのか、その時どのように感じたのか自分の気持ちを伝えさせていただく機会というのはあまりないので、自分の気持ちや取組を正直に伝えて、その評価をいただけるというのは、自分を客観的に見ることができるいい機会だったと感じました。OECDの方々や、教育委員会の方々、「探究心に溢れている人達」だと思いました。教育に関してゴールはなく、常に良い方向に走り続けられるよう試行錯誤をしていっしょにやるんだと実感しました。教育者目線だけではなく生徒目線の意見も取り入れようとして下さっていることは当たり前だと感じてはいけなかったと思います。私もそのような探究心に溢れる人になりたいと強く思いました！OECDの方々是我们的取組に対して興味深々に質問を下さって、今まで取り組んできたことは1つも無駄ではなかったと感じることが出来ました。OECDの方々、教育委員会の方々、先生方、他校の生徒さんには改めてお礼を言わせていただきたいと思います。とても楽しく、沢山のことを学ばせていただきました！本当にありがとうございました！！

★校長より★

DAY1のフォーラム、DAY2の授業、発表と前南の生徒が国際的な場面で活躍できる場面が与えられ、たくさんのお話を吸収することができたと思います。自分の考えを持ち、発表している生徒がとても頼もしく見えました。ご協力いただいた先生方、生徒の皆さんに心より感謝します。

校長 原 拓史